

お知らせ

◆第9回・遠藤文学原点の旅「東京下町に遠藤文学を訪ねて」コース案内
2日間の旅行予定が以下の通り決まりました。すでに仮申込された方には、予定表と正規の参加申込書をお送りしてありますが、まだ間に合います。24日の懇親パーティーだけ、あるいは25日の屋形船だけの参加でも結構です。希望者は至急、左記の旅行社の係まで連絡して下さい。

5月24日(日) 集合・午前9時30分。
「東京駅」丸の内南口鍛冶橋駐車場。駅より徒歩3分。大型バス2台に分乗し、まずは、カトリック府中墓地へ。遠藤先生のお墓にお参りした後、「埋もれた古城」に登場する世田谷城址公園へ。この間、昼食はお弁当を用意します。古城址のあとは一路浅草へ。午後4時ごろには浅草ビューホテルにチェックインの予定で、パーティーまで自由時間。午後6時から、いよいよ懇親大パーティー。まずは30分間、遠藤先生のNHK未公開映像をご覧いただき、楽しい懇親会へ。着席ビュッフェ形式です。午後8時には終了予定です。5月25日(月) 午前中は歴史文学散歩です。まずは9時ごろビューホテルを出発し、雷門から仲見世を通過して浅草寺へお参り。言問橋を渡って、三囲神社から長命寺へ。桜餅を買って、たらずぐ近くの言問団子の店にも寄り、桜橋を渡って待乳山の聖天さんへ。恋愛成就を祈願(?)したら墨田公園をはた目に吾妻橋へ。いよいよ本日のメイン、遠藤先生も楽しんで

同じ船宿の屋形船へ乗船。12時30分出発予定で、新鮮な魚介の天ぷらを食べ放題。掘りこたつ式で足も楽々。ただし60名が定員ですので、先着順で締切りです。さて隅田川の川下りと東京湾の遊覧を楽しんで、3時すぎには吾妻橋に戻って解散です。受付 トップツアー(株)「遠藤周作原点の旅」係福田・近沢さんへ。
TEL 03-3231-4060
TEL 03-3231-4610

◆文学セミナーのお知らせ

「遠藤周作と東京の下町・浅草」
講師 加藤宗哉・高橋千劍破ほか
日時 4月18日(土) 午後3時～5時
会場 日本ペンクラブ(3F会議室) 地下鉄東西線か日比谷線「茅場町」下車3、4分。
TEL 03-5614-5391

申込みの必要はありません。当日直接会場にお越しください。尚、終了後お時間のある方は懇談会(2000円程度)も予定しています。

5月24日・25日の遠藤文学原点の旅「東京下町に遠藤文学を訪ねて」の旅行説明会を兼ねたセミナーです。東京を舞台にした遠藤文学や遠藤周作が愛した浅草の町などについて、加藤宗哉幹事が語ります。原点の旅の参加予定者だけでなく、誰でも参加できます。

◆遠藤周作の新刊
「狐狸庵人生論」河出書房新社
2009年1月発行・680円
—— 人生にはひとつとして無駄なものなどない。挫折こそが生きる意味を教えてくれるのだ。—— 生きる勇氣と感動を与えるエッセイ43篇。

◆遠藤文学講座のお知らせ

「遠藤周作の生涯と文学⑬」
『イエスの生涯』を読む

日時 3月14日、4月18日、5月16日、6月13日(土)
3時20分～4時50分
場所 幼きイエス会(四谷駅麹町口前)
TEL 03-3261-0825

講師 山根道公
受講料 1回2千円(学生半額)
申込み 風編集部
TEL 086-2271-5665

内容 遠藤氏が病床体験で出会った苦しみの同伴者である母なるイエス像を求めて、聖書研究と聖地巡礼を行なった結実である『イエスの生涯』を読み解き、日本人にも実感できるイエス像について考えます。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」に入会しませんか。年会費(9月～翌年8月)はたったの3千円、なんと月額250円です。年4回、遠藤文学に関する様々な情報が載るこの会報が送られるほか、会が主催する勉強会やパーティー、遠藤文学の足跡を訪ねる旅行会などに参加できます。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。また会員の方も、どうぞご家族や友人、知人をお誘いください。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記

▼私事で恐縮ですが、今年は年賀状を一枚も書くことができませんでした。七百枚も印刷したのですが、年末年始と多忙を極め、暮に下痢をしたり新年早々風邪をひいたり体調も崩して、松が明けてしまいました。というのは、作家の早乙女貢さんが10月末に倒れ、12月23日に亡くなられたからです。▼早乙女さんは、遠藤先生が日本ペンクラブ会長であった4年間、理事としてまた企画事業委員長として遠藤体制を支えた一人です。その後も遠藤会長のおとを受け、尾崎秀樹会長のもとで専務理事をつとめました。僕は、この遠藤―尾崎―早乙女ラインのもとで、委員また理事として働きましたが、お三人共に、その文学世界とも深く関わったかけがえのない方々です。

▼早乙女さんとは四十年を超える付き合いで、執筆三十年余に及んだ超大作『会津士魂』(正統全21巻)の編集と解説は、僕の主要な仕事の一つです。その早乙女さんが倒れたとき、奥様はすでに亡く、お子さんも身寄りもないたった一人の状況で、僕と何人かの親しかった編集者たちが、闘病生活を支え最期を看取りました。年賀状が書けなかった理由です。(剣)

「周作クラブ」第34号

2009年2月発行

- 発行人 加賀 乙彦
- 編集人 高橋千劍破
- 副編集人 金子 コウ
- 編集 岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘
矢内一正
- 発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
TEL 080-1097-1979
FAX 03-3421-1521

● 次回の会報発行は5月の予定です。